

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること ・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと ・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること ・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること ・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること ・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
大阪狭山市文化会館(SAYAKAホール)	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・複合施設のベルヒル管理組合やアミナス管理組合と共同で避難訓練を行うなど安全確保に向けた取組を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・アートマネジメントセミナーや接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき、適宜、保守点検や不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・東区の文化団体が出演する事業の企画や、東区出身のアーティストを地元小学校へ派遣するなど、市民が文化芸術にふれる機会を創出した。
その他特筆すべき取組	・アミナス北野田及びベルヒル北野田が複合施設であることから、連携を取りながら防災・防犯対策を行っている。

イ 市による状況分析

・近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者とのコミュニケーションを積極的に図るなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興	公益財団法人 堺市文化振興	公益財団法人 堺市文化振興	公益財団法人 堺市文化振興	公益財団法人 堺市文化振興
利用者数(単位:人)	232,853	88,676	86,779	128,212	—
稼働率(単位:%)	88.0	80.3	81.2	81.5	—
利用者満足度(単位:%)	96.2	96.2	96.2	95.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・広報さかいや財団HP、メールマガジン等様々な媒体に案内を掲載し、集客及び利用促進に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	・事業ごとにアンケートを集計し、次回以降の事業企画へ反映している。
その他特筆すべき取組	・アミナス北野田及びベルヒル北野田との複合施設であることから、これらの施設と連携を取りながら、イベントの開催を行っている。

ウ 市による状況分析

・新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ回復し、令和2、3年度よりも利用者数及び稼働率は高くなった。
・また、アンケートの結果分析を行って運営につなげるなど満足度は高水準を維持している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
公益財団法人 堺市文化振興 財団		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	114,710,000	124,000,339	116,122,284	112,959,474	112,700,000
	利用料金	45,192,805	23,846,300	31,151,478	39,671,212	48,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	13,103,354	13,229,852	14,528,140	10,706,316	6,508,000
合 計		173,006,159	161,076,491	161,801,902	163,337,002	167,208,000
支出	人件費	63,724,022	55,613,569	57,548,711	57,216,453	58,935,000
	委託料	79,912,902	75,477,964	67,528,897	72,742,834	69,929,000
	総支出額に占める 委託料の割合	43.8%	46.2%	42.4%	43.0%	41.8%
	修繕費	1,470,506	3,001,862	4,049,069	2,131,107	3,047,000
	光熱水費	20,540,796	15,655,051	17,208,847	25,978,270	21,000,000
	その他	16,654,306	13,669,075	12,788,578	11,168,980	14,297,000
合 計		182,302,532	163,417,521	159,124,102	169,237,644	167,208,000
収支差額		-9,296,373	-2,341,030	2,677,800	-5,900,642	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入	2,112,642	873,496	1,088,837	1,833,124	1,758,000
支 出	2,282,512	829,607	1,156,602	1,890,243	1,708,000
収支差額	-169,870	43,889	-67,765	-57,119	50,000
(市への納付金の額)	0	0	0	0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ回復し、利用料金収入は令和3年度よりも好転し節電等の経費縮減にも努めたが、昨今の物価高騰等により、委託料と光熱水費は令和3年度よりも悪化した。
------------	--

ウ 市による状況分析

利用料金収入は新型コロナウイルス感染症以前の水準までは回復していないものの、令和3年度より好転したが、昨今の物価高騰等による支出増をカバーできる範囲ではなかったため、収支はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	20回
ギャラリー活用事業	3回以上	5回
生涯学習施設活用事業	12回以上	72回

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	250,000人以上	128,212人
施設稼働率	85%以上	81.5%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する 満足度:90%	利用者の満足度:95.0% 文化芸術振興事業に対する 満足度:100%

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	51,600,000円	39,671,212円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響から少しずつ回復しつつあり、事業回数は全て目標を達成したが、主に貸館利用の低迷により利用者数、施設稼働率及び利用料金収入はコロナ禍前までには及ばず、目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止となった事業があったものの、主催事業回数は全て目標を達成した。利用者数・施設稼働率・利用料金収入は目標に達しなかったが、施設の状態や職員の対応など高い利用者満足度を得られた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業が一部中止になりながらも、主催事業回数や満足度が仕様書の目標を上回ったことは評価できる。
今後の取組	利用者アンケートや事業トレンド等を分析し、親子同伴参加型事業等、各世代をターゲットとした事業を企画し、利用者や来場者にとって魅力ある事業を展開していく。	利用者ニーズに沿った主催事業を企画し、またホール練習利用や稼働率の低い多目的室等の貸館利用を案内し、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図られたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの